

人間は、この五官で受けとめることのできる世界と、なかなか受けとめることのできない世界との接点に存在しています。

目に映る世界は、私たちの五官でキャッチできる証拠というものを、確かにつかむことのできる世界です。目で見て、耳で聞き、調べてゆくこともできる世界ですから、それがたとえ不完全な証拠であっても、信じることができるのです。

それにひきかえ、目に見えぬ世界を信じることは、ひじょうにむずかしいことです。なぜなら、外にその存在の証拠を見つけることが、なかなか困難であるといえるからです。その証拠は、神が、私たち一人一人の心の中に、すべて平等に分け与えられた良心の中に、描かれているからなのです。

人間はすべてを外界に、その姿、形を見いだそうとします。しかし、その人間の頼みの綱である感覚においても、錯覚や幻覚ということもなかにはありますし、また考え方や思いも、育ってきた過程において、他人の偏見にみちた考え方を良しとして、知らず識らずのうちにそれを受け入れていることもあるでしょう。しかし、その不完全な肉体の中に光る良心は、いついかなるときも、不動の神理であるはずです。

見えない世界を信ずることはむずかしいことです。けれども、その世界からどれだけ多くの愛の光が、私たちの心の中に降りそ

そがれているか、計り知ることもできないのです。

過去において、多くの光の天使たちはこの世に出でて、見えぬ心を、見えぬ神の世を、説いてゆかれました。しかし、同時代に生きた人々の目には、変人、奇人としかとれなかったかもしれない。時を経た今なら、その心を、愛の深さを、神への強き信を、知ることができますが、その時代に真を知ることがはむずかしいことなのです。

なぜなら、五官で見る絶対的な神の証拠はないからなのです。しかし、その人々の心の中には、はつきりと神への信と愛が記され、何人も否定できないのです。

科学、医学がひじょうな発展を遂げた今日、過去の人びとのとらえていた物質的証拠は、幼いものであったと言えるでしょう。つまり、この三次元の世界においても、すべてのものが日々進歩してゆく過程であり、絶対的な証拠というものはないかもしれません。

神はあまりにも広く深く無限であり、神によって生かされている人間は、その神の世界にいても、その姿を見ることはなかなか困難である、と気づいてください。人びとが、己れの心の中に生きる神のともしびに気づき、その光をあかあかと輝かせたならば、闇の中を歩む人生航路を、明るく照らし、その愛の光は一人一人の過去も未来も照らしてゆくことでしよう。

人間は、けっして短かい時を生きたために生まれ出でてきたのではなく、神がわれわれに与えられた無限大の時を過ごすために

こそ、生まれ出でてきたのです。永遠の生命は、人類の歴史が始まって以来、絶えることなく求め続けられてきた問題です。肉体を持つもののみを人と見るならば、人間は短かき時を生きる者にすぎないのかもしれない。しかし、あなたは、肉体という舟を持った真まことの神の子であり、霊として生きていることを知らされる時がやがてくるでしょう。

これより先も、大宇宙なる神がわれわれに示される道は、慈愛の時であるということです。ただその小さな一点を見て、すべてを計り知ろうとするのではなく、もっと広い視野でわかろうとすることが、大切なのではないのでしょうか。

正しさとは、むずかしいものです。一点だけを見てすべてを判断しようとすることは、不可能なことです。すべてを生かし愛する神の御心みこころこそ、正しさと言えるものだと思えます。

人類は長き時をこの果てしなき宇宙の中で生きてきました。宇宙は広大であり、己れの姿を知ること困難なことです。しかし、人間もその中に包括ほうかつされた小宇宙体であることを、私たちは知っています。永遠の生命は遠き所にあるのではなく、ほかならぬあなた自身が、そうであり永久の時を生きてきた者なのです。ただ物質や、形式に振り回されるのではなく、なんのための物質であり、形式であるのか、その本質に気づくことです。

人間が、組織や物質の虜とりことなり、個性を失い、歯車のごとく生きるならば、この神が与えられた時の意義が失われてしまうのではないのでしょうか。誰もが幸せになりたいと望んでいるはずで

す。幸せはあなたの手の中に存在するのです。その幸せをつかむのは、あなた自身です。

人類が二十一世紀の宇宙にはばたくとき、人知では計り知ることのできぬ多くの事柄が、その前途に現われてくるでしょう。今は浄化の過程であり、これより多くの驚異的な諸現象まじげんが勃発まじげんしてくるでしょう、長い歴史の中に造られてきた人々の想念によって……。

多くの人々が求めてやまなかった神の国、ユートピアを、まず、あなたの心の中に造りあげていただく下さい。

人類の絆きずなは絶えることなく、すべてが存在するかぎり、強く結ばれてゆくことでしょう。多くの見えぬ天使たちが、今もあなたを助力しています。

真創世記は、三部で完結いたします。しかし、人類の真の夜明けは、これより浄化の時とともになされてゆくことでしょう。

メッセージ —— 神を愛するすべての人々へ贈る

これより多くのことが始まり

そして多くのことが終わるであろう

しかし一時の結果のみにとらわれてはならない

神は永遠にすべてを生かされている